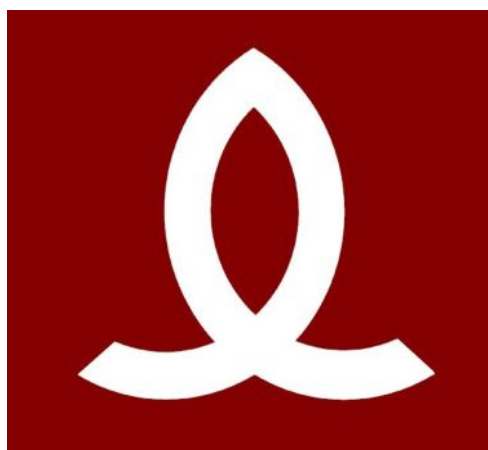


印南町トンネル長寿命化修繕計画



令和6年3月

印南町建設課

1. 印南町トンネル長寿命化修繕計画について(老朽化対策における基本方針)

印南町トンネル長寿命化修繕計画は、印南町が管理する1トンネルについて、点検・診断および修繕・更新の方針を明確化することにより、今後老朽化の進行するトンネルについて適切なメンテナンスサイクルを構築し、安心・安全な道路環境を維持していくことを目的として策定するものである。

2. 対象施設

対象施設は別表の通りである。

3. 計画期間

計画期間、2巡目は令和元年度(2019年度)から令和5年度(2023年度)の5年間とし、3巡目は令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)の5年間とする。

1) 点検・診断

点検の頻度は、5年に1度を基本とする。

2) 修繕・更新

上記の点検・診断の結果を受け、適切な時期に修繕を行う。

4. 対策の優先順位の考え方

5年に1度のトンネル点検、診断を基に、防災・教育を優先的に、緊急に修繕の必要が高いトンネルより修繕を実施する。

判定区分 : 緊急修繕を行う

判定区分 : 修繕を行う

判定区分 : 修繕を検討

5. 個別施設の状態等

別表による。(随時更新)

6. 対策内容と実施時期

別表による。(随時更新)

7. 対策費用(概算)

別表による。(随時更新)

8. 費用の縮減について

定期点検について、新技術等を考慮し、実施方法の比較検討を行う。

その結果、安価なものを採用し、費用の縮減を図る。

また、修繕についても、新技術等を考慮し、実施方法の比較検討を行う。

その結果、安価なものを採用し、老朽化が進捗する前に早期修繕を行い、費用の縮減を図る

9. 新技術の活用方針

定期点検や修繕等の実施に当たっては、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)などを参考に、新技術の活用を積極的に検討し、事業の効率化やコスト縮減を図る。

